

放課後等デイサービス事業所における自己評価

公表：2022年 3月 1日

事業所名 きっず・らるげっと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	適切だと感じる。コロナの中では密にならないように心掛けている。	1階2階スペースを使い広く活用している。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	適切だと感じる。	
	3	事業所の設備等について、特性に応じた構造化などの配慮が適切になされている	8	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	日々の朝礼、月に一度職員全員で会議を行っている。	
	5	アンケート調査を実施し保護者等向け評価表の活用により保護者の意向を把握し、業務改善につなげている	8	0	評価に対しては職員間で会議や話し合いの場を設けて周知し改善へつなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	毎年ホームページにて公開している。	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	研修の情報を職員で共有し各職員が選り参加している。	
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	保護者や利用者のニーズを聞き取り課題を分析している。	
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、各々に合わせたアセスメントツールを使用している	8	0		
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	一部固定しているプログラムあり。子どもの変化する状況や新たな興味に寄り添う。	
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援している	8	0	季節の行事、年齢、長期休暇に合わせて設定している。	
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	新たな気づき情報は随時共有し計画作成に活かしている。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎朝朝礼で確認している。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		終了後にできなかった場合は翌朝の朝礼で共有している。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	連絡帳や業務日誌に記入している。	
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	コロナ禍の為、電話で確認している。	テレビ電話でも行っていく。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0		
	19	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	0	学校のホームページやメールにて確認を行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	保育所等訪問支援を含め相互理解に努めている。	
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1		
	23	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関での研修を受けているか	8	0	CDS（全国児童発達支援協議会）の研修に参加している。	
	24	（地域自立支援）協議会、児童部会等へ積極的に参加している	8	0	児童部会に毎月参加している。	
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎の際の対面、連絡帳や電話等で保護者に伝え共通理解が持てるようにしている。	
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4	保護者からの要望に対して個別に対応している。	ペアレント・トレーニング実施計画はしているが現在コロナの影響で行うのが難しくオンライン開催も視野に入れる。
保護者への説明責任等	27	契約書及び重要事項説明書、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に行っている。	
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	電話相談、事業所内での相談、自宅訪問による相談を行っている。	
	29	保護者会等の開催により保護者同士の交流の場が設定されている	6	2		コロナの為やむなく中止となったが、今後は開催できるような場所を探して設定していく。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	対応の体制を整備し、迅速に対応している。	
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎年ニュースを発行し、ホームページよりブログ等でも発信している。	
	32	個人情報に十分注意している	8	0		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	特性に合わせた伝え方を配慮している。	
	34	事業所の行事に地域住民と交流する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4		一昨年はサルガク祭に参加したが今年度はコロナ禍で中止となった。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	定期的に確認と更新を行っている。	保護者が常に閲覧できるよう利用者のロッカーに閲覧コーナーを設置している。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練や災害訓練を年に二回実施している。	救急救命講習はコロナの為受講できていない。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	年に1度法人全体で虐待防止研修を実施している。	
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	該当する利用者については保護者に説明し個別支援計画に記載している。	
	39	食物アレルギーのある子どもについて、アセスメントに基づく対応がされている	8	0		
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	社内全体で共有している。	